

# はたらきかた 改革通信 2024 No.4

## 終業後業務の見直しについて

第3回働き方改革シェアミーティングより

これまで働き方改革シェアミーティングでは、「始業時間の見直し」「日課の見直し」について話し合ってきました。第3回シェアミーティング(10/9)では、「終業後業務の見直し」と題して、児童生徒が下校した後の時間の使い方について、各校の取組の具体や課題についてシェアしました。

その中で大きな話題となったのが「保護者との会議のあり方」です。保護者との会議には、大きく分けて「PTAに係る会合や打合せ」と、「児童・生徒に係る保護者や関係者との会議」があります。それぞれに、開始時刻が勤務時間外に設定される傾向にあることが課題にあげられました。そこで、シェアミーティングで出された、会議の開始時刻について工夫している取組をご紹介します。

### PTAに係る会合や打合せ

- ・PTAの役員数を減らし、業務そのものを軽減できないか検討しています。
- ・PTAの会合への参加をオンラインでも可能に。職場や自宅からの参加も可能なので、参加しやすくなった、との声もあります。

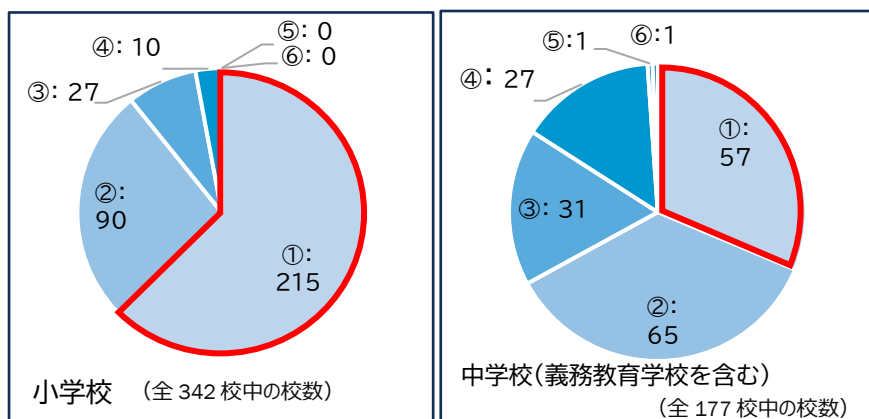


### 保護者や関係者との会議

- ・担任の空き時間と保護者の方の都合を調整して時間設定をしています。保護者の方々は概ね協力的です。
- ・いわゆる「余剰時数」を調整して放課後の時間を生み出し、会議の時間を確保しています。



### 支援会議の平均的な開始時刻について (R6年度 業務改善調査の結果より)



保護者や関係者との会議は、小学校で **215 校(63%)**、中学校で **57 校(32%)** が、概ね勤務時間内に開始していると回答しています。

勤務時間内の開始に対して、保護者の皆様は理解を示してくださいます、という声も多く聞かれました。もちろんご都合がつかない場合には、時間外に開催されることもあります。

凡 例			
① 勤務時間内	② 17:00~	③ 17:30~	④ 18:00~
⑤ 18:30~	⑥ 19:00以降		

- ・日中の空き時間があれば、いろいろ対応ができる状況が生まれます。小学校教科担任制の導入などにより、空き時間を増やすアイデアを出し合っていきましょう。
- ・支援会議は、内容を重くならないようにしていくことが大切です。子どもたちの有用感や存在感をより大事にしていく学級経営を、学校を挙げて取組む必要があります。その取組が、結果としてトラブルを減らし、支援会議を減らすことにつながります。



妹尾先生より

# 部活動の終了時刻の工夫について 魅カアップUP校支援事業より

塩尻市で展開している魅カアップUP校支援事業において、支援者の妹尾昌俊先生から、「岐阜県下呂市の中学校では、**平日の部活動は16時30分に終了**している」というお話をいただき、支援対象校の広陵中学校の先生方からも関心の声が寄せられていました。そこで、10月11日(金)に行われた広陵中学校との情報交換会では、下呂市立下呂中学校にもご参加をいただき、その取組を紹介していただきました。

## 16時30分部活動終了の取組 下呂市立下呂中学校より

### ●設定の経緯

R3年度：中学校長会で検討し、教頭会、教務主任会で提案、市教委へ相談し、試し運用  
市教委がバスのダイヤ変更の交渉、学校運営協議会、保護者への通知等

R4年度：本格的に運用開始

### ●日課の見直し

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
昼休み	12:55~13:10				
5限	13:15~14:05				
6限	14:15~15:05		14:15~15:05	14:15~15:05	
終活	15:10~15:25	14:10~14:25	15:10~15:25	15:10~15:25	14:10~14:25
掃除	15:30~15:45	14:30~14:45			14:30~14:45
7限			15:35~16:25		
放課後	部活動なし 生徒会議日 15:55~16:30	部活動 14:55~16:30	部活動なし	部活動 15:35~16:30	部活動 14:55~16:30
下校	16:45				

火曜日と金曜日は  
**5時間授業**

水曜日と木曜日は  
**清掃なし**

水曜日は  
**7時間授業**

昼休みと終活を  
**5分短縮**

### ●行事等の見直し

- ・生徒会委員会の時間の廃止（生徒会執行部と学級委員会の新組織）
- ・宿泊行事の縮減……1年生の宿泊研修を1日研修に
- ・運動会や3年生を送る会、儀式的行事の練習の削減
- ・定期テストは廃止し、単元テスト重視

### ●地域移行に向けて

- ・平日は、勤務時間内で教職員による活動（週3日）
- ・土日祝日（長期休暇の一部）は、下呂市地域クラブ指導員による活動
- ・移動は、市の補助によりスクールバスや路線バスを使用

上記は、当日ご紹介いただいた資料の抜粋です。下呂市の全6中学校で、16:30部活動終了を実現しているそうです。実現には、多くのハードルもあったのではないかと思います。子どもを家庭に返し、子どもと教職員にゆとりの時間を提供する、という大目標のために一つ一つクリアしていったといいます。実際に、生徒からは「ルーティーンを決めて生活できるようになり、家庭学習が習慣化できている。」「母の手伝いができるようになった。」「読書時間が増えた。」「今日あったことを家族に話すことができた。」等の声が多く聞かれています。また、教職員からも「生徒の話題をあげて情報共有できる。」「他の職員との相談時間にあてられる。」など、取組を肯定的にとらえる声が増えるそうです。

地域や子どもたちの実情は異なりますが、参考にさせていただけるところはあるのではないかと思います。紹介いたしました。



こんな時代だから、ワクワクしたい!!  
これからの目指す姿  
個人と社会の  
ウェルビーイングの  
実現

<お問合せ先>

長野県教育委員会事務局義務教育課(担当:鈴木、藤木)

電話 026-235-7426 Mail: gimukyo@pref.nagano.lg.jp

こちらから、過去の通信や勤務時間調査の結果などをご覧いただくことができます!

